



第22回全国産業教育フェア 岡山大会  
 専門高校等の生徒による学習成果発表の祭典  
**さんフェア岡山2012**  
NATIONAL INDUSTRIAL EDUCATION HIGH SCHOOL STUDENT EXHIBITION FAIR OKAYAMA 2012  
 岡山県マスコット/うらっち・ももっち

教育通信

こころのわ

●学校・家庭・地域社会の【心】を結ぶ●



VOL. 22



「おかやま教育の日」シンボルマーク  
11月1日

家庭向け教育情報紙 Vol.22 平成24年10月 編集・発行/岡山県教育庁総務課 〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号 ☎(086)226-7569  
 この「こころのわ」は、子どもたちをすこやかに育てていくうえで必要な情報を県内の保護者の皆さんに提供します。

目次

1~3面 《特集》社会全体で子どもを育てるために

4面 《岡山教育トピックス》 記念品引換券付  
 ◎第22回全国産業教育フェア岡山大会

5面 ◎平成25年春 未来科学棟(仮称)オープン

6面 《子どもの声・保護者の声》  
 ◎平成23年度「わが家のすこやか日記」優秀作品  
 ◎「岡山県児童生徒いじめ防止ポスター」

7面 《困ったときは》◎教育相談Q&A ◎相談窓口一覧

8面 《お知らせ》

教育長からの  
緊急メッセージ



今年8月に公表された「平成24年度全国学力・学習状況調査」において、岡山県は中学校の理科を除き9項目で全国平均を下回り、正答率の順位は小学校6年生が45位、中学校3年生が42位で過去最低という極めて厳しい結果となりました。また、問題行動等に関しては、平成23年度の暴力行為の件数は前年度に比べ減少したものの、小学校における不登校児童の数は増加するなど、本県の教育を取り巻く環境は依然として大変厳しい状況にあります。全国的にはいじめの問題が話題となっていますが、いじめは人権侵害であり、決して許してはいけぬものと考えています。学力の問題については、今回の調査から分かる課題のうち、家庭について言えば、家庭学習の習慣が身につけていない、ということです。宿題は必ずやり、授業の予習・復習をし、さらには、自主

勉強も行う。こうした習慣を確実に身につけることが重要です。これらも踏まえ、県では子どもたちの確かな学びをつくるために、まずは次の3点について家庭での取組をお願いしています。①生活リズムを整え、学習習慣の定着を図る。②しっかりほめて、きちんとしかる。③自分のことは、自分でできるようにする。(「おかやまっ子の確かな学びをつくる10のメッセージ」から)  
 今回、本紙では、教育は学校、家庭、地域が一体となって取り組むことが重要であることから、「社会全体で子どもを育てるために」を特集のテーマとしています。子どもたちが様々な活動を通して、多くの人とふれあう中で、豊かな人間性を身につけ、健やかに成長できるよう、ぜひ、家庭、地域での取組に皆様のご協力をお願いいたします。  
 岡山県教育委員会教育長 竹井 千庫

特集 社会全体で子どもを育てるために

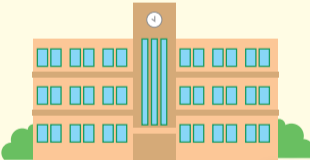
社会がますます複雑多様化し、子どもを取り巻く環境も大きく変化する中で、子どもの学習意欲の低下や基本的な生活習慣の乱れ、体験活動の不足、コミュニケーション能力の低下等、学校だけでは対応が困難な多くの課題が指摘されています。これらの課題を解決するためには、これまで以上に学校、家庭、地域がそれぞれの責任を果たすとともに、相互に連携しながら、一体となって、社会全体で子どもを育てる取組を進めていくことが必要です。

学校 家庭 地域でつくる「豊かな学び」

教育は、未来の社会を支える人づくりであり、子どもは「社会の宝」です。子どもが、自ら考え、判断できる力や豊かな人間性を身に付け、健康でたくましく成長していくことは県民すべての願いです。

共通の願い

未来を担う子どもの  
健やかな成長



学校



家庭



ボランティアと中学生による環境整備



地域の方々による親の育ちを応援する取組



学生

地域



地域住民



放課後子ども教室での学習支援活動



企業、NPO等

子どもの応援団

学校 家庭 地域 が一体となって おかやまの子どもを地域ぐるみで育てましょう